

令和2年労働災害発生状況

令和2年12月8日作成  
宮城労働局

業種別	平成29年全期		平成30年全期		令和元年全期		令和元年(平成31年)1月~11月		令和2年1月~11月		前年同期増減			
	死傷者数	死亡	死傷者数	死亡	死傷者数	死亡	死傷者数	死亡	死傷者数	死亡	増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	2385	17	2589	23	2432	17	1967	15	1960	12	-7	-0.4%	-3	-20.0%
製造業	473	1	502	4	465	1	376	1	392	5	16	4.3%	4	400.0%
食料品製造業	203		224		223		183		165	2	-18	-9.8%	2	
水産食料品製造業	69		67		78		67		62	2	-5	-7.5%	2	
その他	134		157		145		116		103		-13	-11.2%		
繊維工業、衣服その他の繊維製品製造	1		7		5		4		4					
木材・木製品製造業	23		23		22		17		13		-4	-23.5%		
家具・装備品製造業			6		5		4				-4	-100.0%		
パルプ・紙・紙加工品製造業	6		5		5		5		5					
印刷・製本業	16		6		4		4		5		1	25.0%		
化学工業	19		20		16		11		24		13	118.2%		
窯業土石製品製造業	20		25		21		19		24		5	26.3%		
鉄鋼業、非鉄金属製造業	9	1	11	1	12	1	10	1	10	1				
金属製品製造業	43		57		41		31		43		12	38.7%		
一般機械器具製造業	18		17		15		13		15		2	15.4%		
電気機械器具製造業	27		20		27		22		19	2	-3	-13.6%	2	
輸送用機械等製造業	32		28	3	26		22		19		-3	-13.6%		
造船業	12		14	3	11		8		11		3	37.5%		
その他	20		14		15		14		8		-6	-42.9%		
電気・ガス・水道業	4		5		6		5		6		1	20.0%		
その他の製造業	52		48		37		26		40		14	53.8%		
鉱業	8		10		4		4		3		-1	-25.0%		
土石採取業	8		9		4		4		3		-1	-25.0%		
その他			1											
建設業	350	5	336	7	352	7	294	6	249	2	-45	-15.3%	-4	-66.7%
土木工事業	123	2	123	2	111	4	92	4	82		-10	-10.9%	-4	-100.0%
建築工事業	179	3	156	3	191	3	164	2	136	2	-28	-17.1%		
鉄骨・鉄筋コンクリ造家屋建築工事	48	2	43	2	48	1	42		39	2	-3	-7.1%	2	
木造家屋建築工事業	86		54		80	2	76	2	50		-26	-34.2%	-2	-100.0%
建築設備工事業	17	1	18	1	19		18		17		-1	-5.6%		
その他の建築工事業	28		41		44		28		30		2	7.1%		
その他の建設業	48		57	2	50		38		31		-7	-18.4%		
運輸交通業	378	2	377	4	386	2	329	2	281	1	-48	-14.6%	-1	-50.0%
鉄道・軌道・水運・航空業	13		5		4		2		4		2	100.0%		
道路旅客運送業	47		36		43		37		21		-16	-43.2%		
道路貨物運送業	313	2	332	4	338	2	289	2	256	1	-33	-11.4%	-1	-50.0%
その他の運輸交通業	5		4		1		1				-1	-100.0%		
貨物取扱業	18		29	1	21		16		12		-4	-25.0%		
陸上貨物取扱業	11		18	1	11		6		10		4	66.7%		
港湾運送業	7		11		10		10		2		-8	-80.0%		
農業	12		26	1	19	1	11	1	17	1	6	54.5%		
林業	29		32	1	26	1	21	1	27	2	6	28.6%	1	100.0%
畜産・水産業	17	1	19		16		16		22		6	37.5%		
商業	376	5	467	2	436		344		325		-19	-5.5%		
卸売業、小売業	339	4	415	2	395		312		279		-33	-10.6%		
その他	37	1	52		41		32		46		14	43.8%		
金融・広告業	33		26		25		20		20					
映画・演劇業	1				1		1				-1	-100.0%		
通信業	53		50		42	1	36	1	30		-6	-16.7%	-1	-100.0%
教育・研究業	17	1	29		23		11		27		16	145.5%		
保健衛生業	229		261		242		197		239		42	21.3%		
接客娯楽業	175		168	1	161		134		112		-22	-16.4%		
旅館業	42		43	1	28		26		24		-2	-7.7%		
ゴルフ場	10		11		11		9		7		-2	-22.2%		
その他	123		114		122		99		81		-18	-18.2%		
清掃・と畜業	110	2	134	1	102	1	90		97	1	7	7.8%	1	
ビルメンテナンス業	63		75		41		35		52		17	48.6%		
廃棄物処理業	41	2	53	1	54	1	48		37	1	-11	-22.9%	1	
その他	6		6		7		7		8		1	14.3%		
官公署	2		2		1				5		5			
その他の事業	104		121	1	100	3	67	3	102		35	52.2%	-3	-100.0%
警備業	23		48		23	2	14	2	26		12	85.7%	-2	-100.0%
その他	81		73	1	77	1	53	1	76		23	43.4%	-1	-100.0%
陸上貨物運送事業	324	2	350	5	349	2	295	2	266	1	-29	-9.8%	-1	-50.0%
第三次産業	1100	8	1258	5	1133	5	900	4	957	1	57	6.3%	-3	-75.0%
小売業	286	3	329	2	324		254		229		-25	-9.8%		
飲食店	105		94		92		75		61		-14	-18.7%		
社会福祉施設	171		203		208		174		177		3	1.7%		

1. 死傷件数は令和2年11月末日までに発生した災害について12月7日までに確認できた労働者死傷病報告（休業4日以上）により計上しています。
2. 死亡件数については、前月末までに把握したもの（速報）により計上しており、死傷者数の内数となっています。
3. 陸上貨物運送事業は、道路貨物運送業と陸上貨物取扱業の合計です。
4. 第三次産業は、商業、金融・広告業、映画・演劇業、通信業、教育・研究業、保健衛生業、接客娯楽業、清掃・と畜業、官公署、その他の事業の合計です。